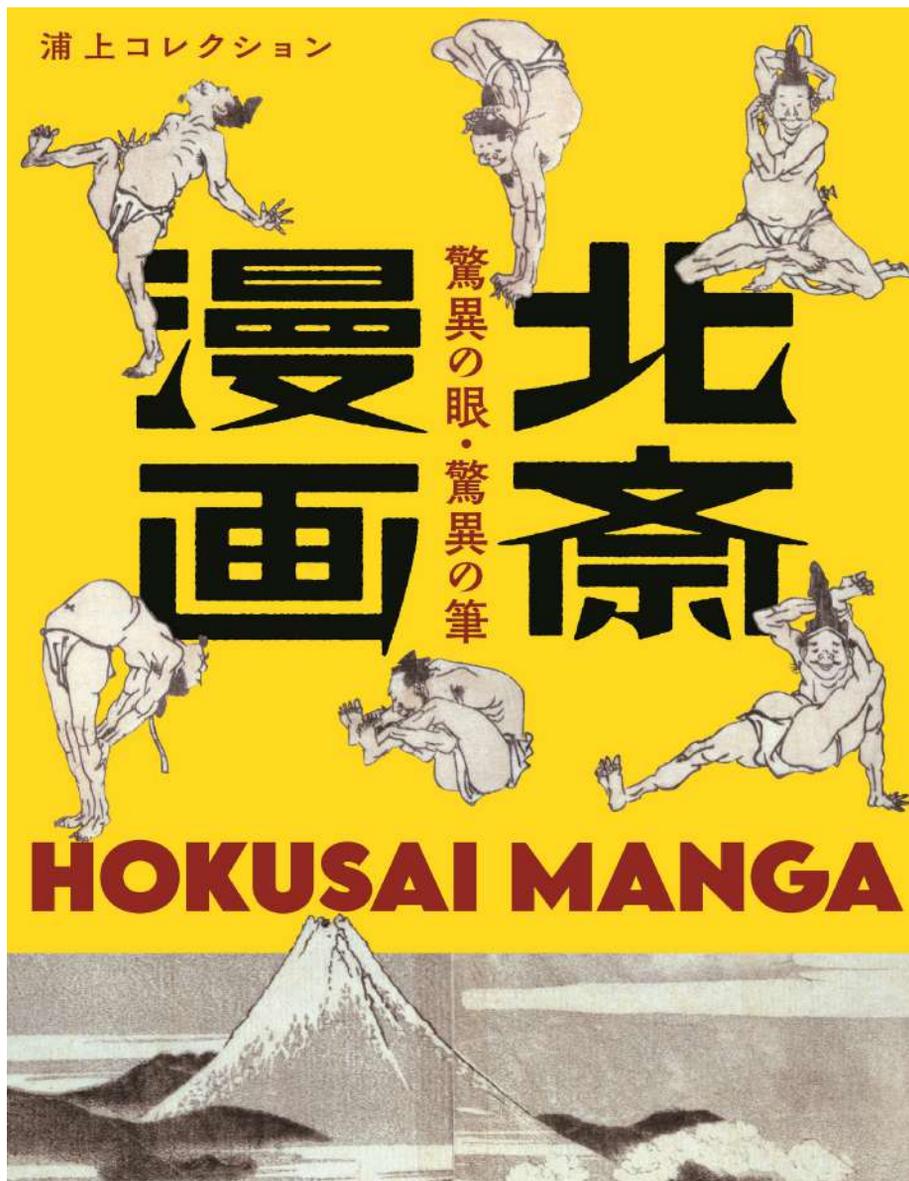


press release



会期 令和2(2020)年 令和3(2021)年
12月10日(木)～1月31日(日)
休館日 年末年始(12月25日～1月1日)

10月10日(土)から
前売券販売中!

開館時間 9:00～17:00

※金曜日は19:00まで、
入場は閉館の30分前まで

料金 一般 1,200円
高・大学生 1,000円
小・中学生 600円

※前売・20名以上の団体は当日料金より
200円引き



- JR広島駅より約1km ●広島城より約400m
- 市内電車(「八丁堀」で乗り換え)白鳥線で「縮景園前」下車20m
- ひろしまめいぐる〜ぶ(市内循環バス、JR広島駅新幹線口のりば発着)「県立美術館前」下車(白鳥線沿い)



広島県立美術館
Hiroshima Prefectural Art Museum



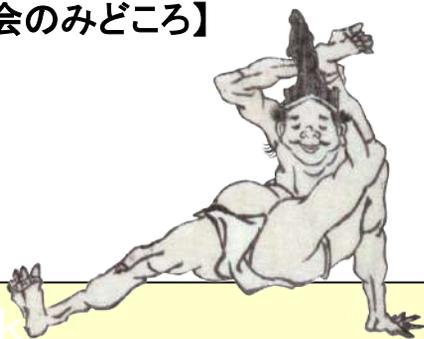
公式Instagram

【開催趣旨】

『北斎漫画』は、1814(文化11)年から1878(明治11)年までに全15編が絵手本として刊行されました。葛飾北斎(1760~1849)の代表作であり、総頁数は883頁に及びます。本書の出版は、北斎が弟子たちのための教科書(絵手本)として企画したことに始まりますが、庶民から武士まで多大な人気を博し、江戸時代のベストセラーになりました。またヨーロッパに渡り、ジャポニズム旋風のも動力ともなりました。

こうした人気の秘密は、北斎自身の卓越した筆力はもちろんのこと、モチーフの特徴を一瞬でとらえる眼力、現代のマンガを先取りした大胆かつ斬新な表現方法などにありました。本展では、世界一の質と量を誇る浦上氏のコレクションから200点を厳選し、『富嶽三十六景』とも比較しながら、『北斎漫画』の魅力をご紹介します。

【展覧会のみどころ】

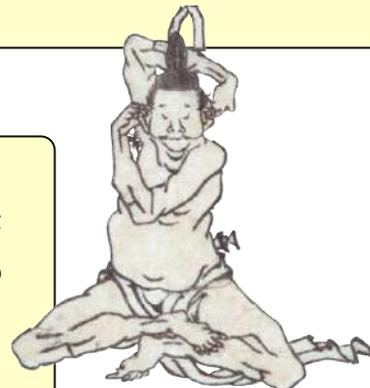


『北斎漫画』本来の姿である和綴じ本を解き、全15編・883頁から200点を厳選して展示します。

展示作品の特色を図解で分かりやすく解説します。



『北斎漫画』の巧みな構図や人物、風景などを連想させる『富嶽三十六景』(10点)も特別展示します。



【構成】

初編(文化11/1814年刊行)

さまざまな身分や職業の人々の生活模様、活き活きとした生き物たちにご注目ください。



《お坊さん》

二編(文化12/1815年刊行)

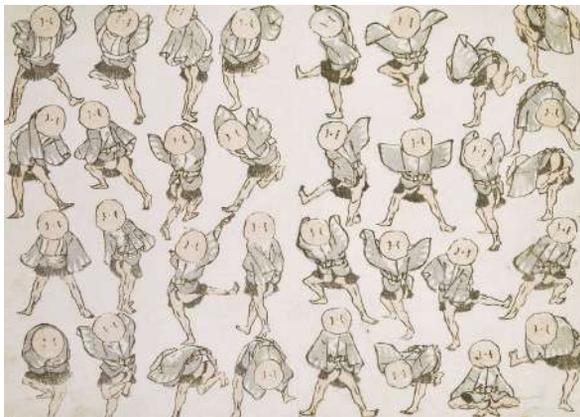
所せましと描かれたモチーフ。かまいたちや猿などの不思議な生き物も登場します。



《ムササビ・蝙蝠など》

三編(文化12/1815年刊行)

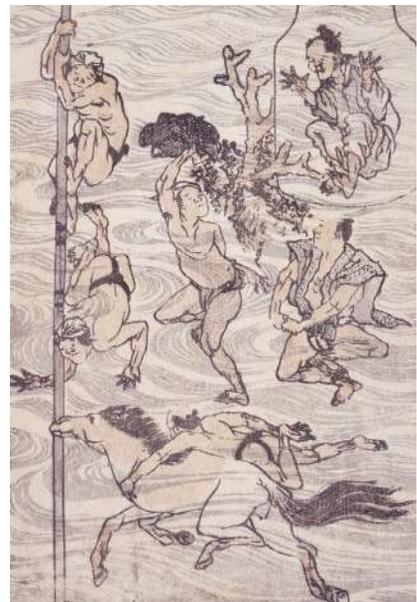
人物の動きの捉え方や西洋の遠近法の使い方など、描き方のコツが盛りだくさんの一編。



《雀踊り》

四編(文化13/1816年刊行)

水中遊泳の図にみられるような自由自在な表現と遊び心は、北斎の本領と言えるでしょう。

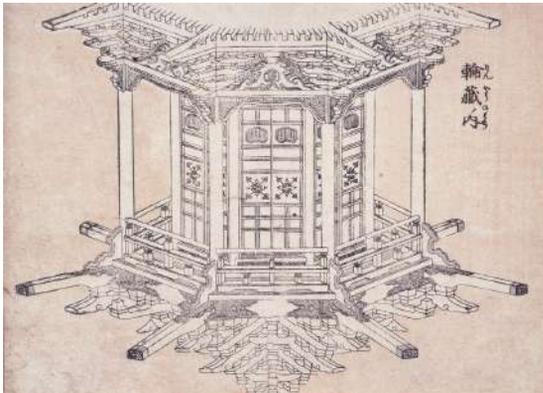


《潜水瓶と水中遊泳》

【構成】

五編(文化13/1816年刊行)

寺社建築が多く描かれた一編です。百人一首の歌人や日本神話の神々も登場します。



《輪蔵の内》

六編(文化14/1817年刊行)

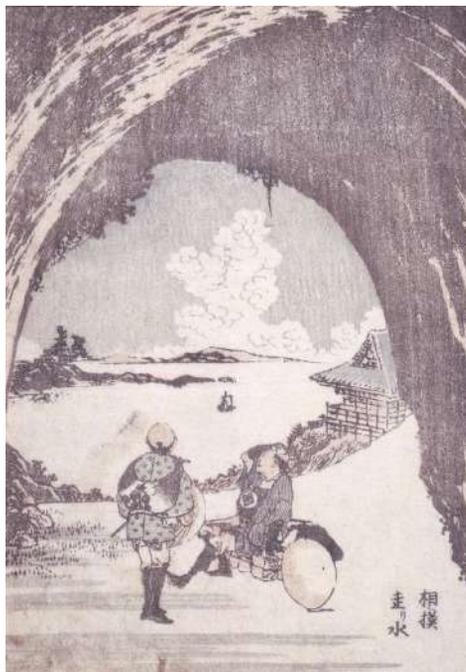
武術に関する内容で構成された一編です。実践的な逮捕術なども紹介されています。



《槍術》

七編(文化14/1817年刊行)

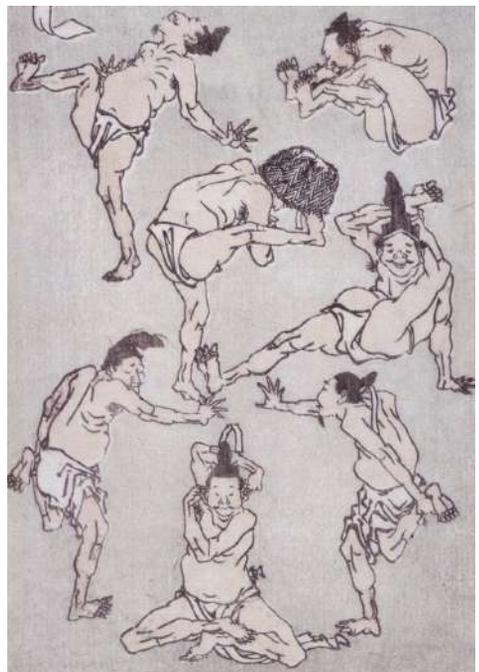
気象や水の動きに注目した名勝や風景の描写。のちの傑作「富嶽三十六景」に繋がります。



《相模走り水》

八編(文政元/1818年刊行)

アクロバットなポーズの裸の男たちなど、鋭い観察力と卓越した描写力が際立っています。



《無礼講》

【構成】

九編(文政2/1819年刊行)

「戦い」がテーマの一篇。最後には、戦いを終えてくつろぐシーンで締めくくられます。



《八艘飛之図》

十編(文政2/1819年刊行)

「不思議」をテーマに描かれる様々な人物・動物。お座敷芸の奇術も紹介されています。



《奇術のいろいろ》

十一編(刊年未詳)

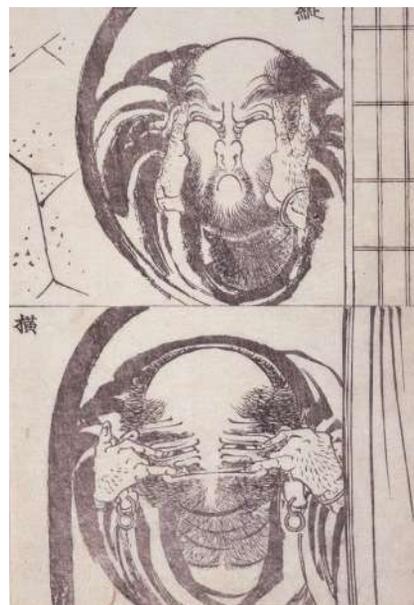
クスッと笑える小ネタから大砲で海魔を射撃する図まで、様々な図様が収められた一篇。



《影…夕暮れの往来》

十二編(天保5/1834年刊行)

戯画尽くしの一篇。達磨が変顔を作る図は、ニコマ漫画ともいえるでしょう。



《縦・横》

【構成】

十三編(嘉永2/1849年刊行)

北斎没後に刊行された一編。「魚籃観世音」はエミール・ガレなど西洋工芸作家に影響を与えました。



《魚籃観世音》

十四編(刊年未詳)

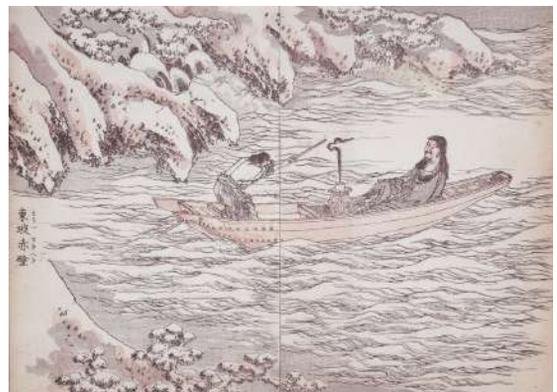
前半には水辺に関する人物や風景、後半には動物の図を収載しています。



《飛び上がらんとする獅子》

十五編(明治11/1878年刊)

北斎没後29年。遺稿と『北斎画鏡』から一部転用して、完結することができた一編です。



《東坡赤壁》

【媒体掲載用の画像提供について】

※いかなる場合も本プレスリリースからの転用はご遠慮ください。

※都合により出品作品が異なる場合がございます。ご了承ください。

※画像については提供が可能です。ご掲載の際に画像がご入り用の場合は、当館までお問い合わせください。

※画像掲載の際には、画像とテキストが掲載されたレイアウト原稿を事前に当館までご提出いただき、1週間程度お時間を頂戴いたします。

【関連イベント】

講演会（共催：広島県立美術館友の会）

テーマ：「世界を驚かせた北斎と『北斎漫画』」

日時：12月10日（木） 13:30～15:00 [開場13:00]

講師：浦上 満（本展監修者、浦上蒼穹堂代表）

場所：地階講堂（先着60名）

※要事前申込【Tel.082-221-6246（当館）】※聴講無料

※講演会当日でも参加人数に余裕がある場合は、ご連絡先をお伺いの上、参加していただくことができます。

ティーチャーズ・デー

「北斎入門」（葛飾北斎と本展についてご案内します。）

日時：12月13日（日）、1月10日（日） 13:30～14:30

対象：広島県内の小学校、図画工作・美術科担当教職員

講師：隅川 明宏（当館学芸員）

場所：地階講堂（先着30名／各日）

※要事前申込【Tel.082-221-6246（当館）】※聴講無料

学芸員によるギャラリートーク（スライドトーク）

日時：12月11日（金）、1月8日（金）、1月22日（金） 11:00～

12月18日（金）、1月15日（金）、1月29日（金） 17:00～

所要時間：30分程度

講師：隅川 明宏（当館学芸員）

場所：地階講堂（先着60名）

※要事前申込【Tel.082-221-6246（当館）】※聴講無料

※当日でも参加人数に余裕がある場合は、ご連絡先をお伺いの上、参加していただくことができます。

【縮景園連携】

ワンコイン縮景園 本展入館券のご提示により、100円で縮景園にご入園いただけます。

【開催概要】

メインタイトル：浦上コレクション 北斎漫画—驚異の眼・驚異の筆—

英語名：HOKUSAI MANGA from Uragami Collection: Miraculous Eyes, Marvelous Brushes

会期：令和2年12月10日(木)～令和3年1月31日(日) 休館日 年末年始(12月25日～1月1日)

開館時間：午前9時～午後5時(金曜日は午後7時まで)

※入場は閉館の30分前まで

料金：一般 1200円 高・大学生1000円 小・中学生600円

※前売り・20名以上の団体は当日料金より200円引き

※学生券をご購入・ご入場の際は学生証のご提示をお願いします。

※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳及び戦傷病者手帳の所持者と
介助者(1名まで)の当日料金は半額です。手帳をご提示ください。

前売券販売所：広島県立美術館、セブンチケット(セブンコード 085-703)、ローソンチケット(Lコード 61411)、
チケットぴあ(Pコード 685-377)、広島市・呉市内の主なプレイガイド、画廊・画材店、ゆめタウン広島、中国
新聞社読者広報部などで販売しています。

開催クレジット

主催：広島県立美術館／広島ホームテレビ／イズミテクノ／中国新聞社

後援：中国放送／広島テレビ／テレビ新広島／広島エフエム放送／FMちゅーピー76.6MHz／エフエムふく
やま／尾道エフエム放送／FMはつかいち76.1MHz／FM東広島89.7MHz

協賛：大田鋼管／広島県信用組合／一般財団法人ケンシン地域振興財団

監修：浦上 満(浦上蒼穹堂代表)

企画協力：山形美術館／アートワン

問い合わせ先：広島県立美術館

〒730-0014 広島市中区上幟町2-22

TEL.082-221-6246 FAX.082-223-1444

E-mail：iroeuma2@gmail.com

担当：学芸課 隅川 明宏

広報担当：総務課 一色 直香、弘津 かおる